



## Motivation どんな問題に取り組むのか？

人と人とのコミュニケーションの仕組みを探り、より良いコミュニケーション環境の実現に向けた研究を進めています。人の非言語情報に着目し、そのセンシング、会話の場の構造の数理モデル化、会話者間の共感推定、会話場の再構成システムなどについて研究を進めています。

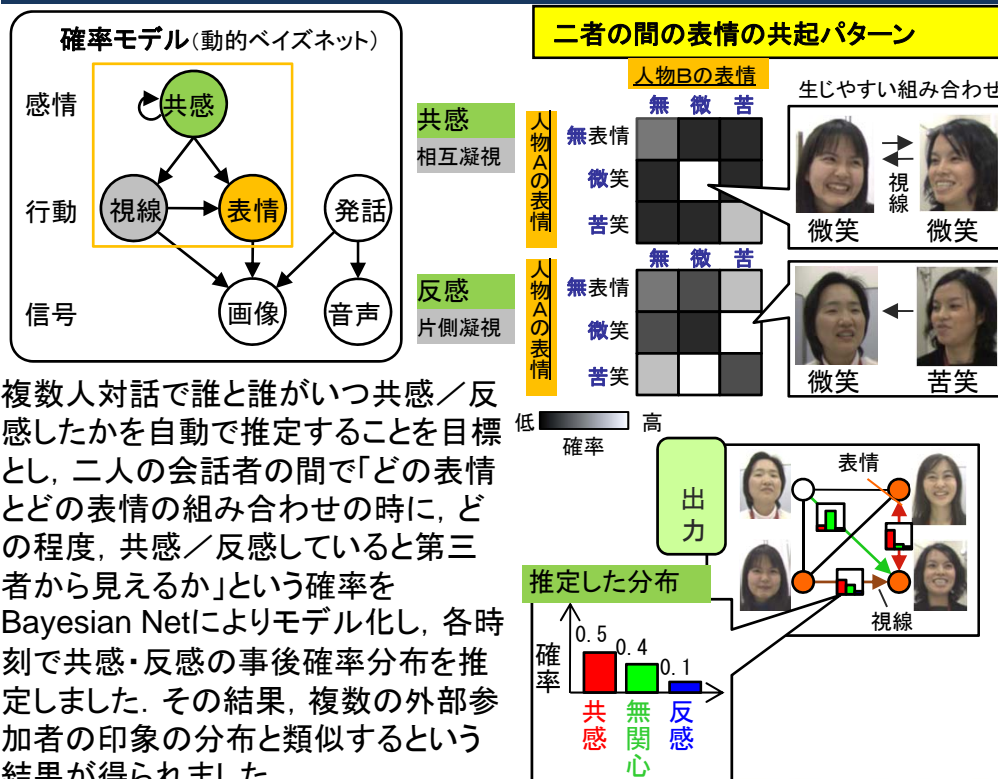
## Originality 得られた結果はどう新しいのか？

これまで曖昧模糊とした人と人とのコミュニケーションという現象を定量的に分析の俎上に乗せるという試み自体、あたらしい取り組みです。一例として、人との共感・反感の度合いを定量的に推測する方法や、複数人物の会話の様子を再現する新しい表現方法・デバイスが最近の成果です。

## Impact この研究が成功した場合のインパクトは？

例えば、遠隔にいる人があたかもその場にいるかのような存在感を感じながら話ができる遠隔会議システムが実現します。また、人と人とお互いをより深く理解し合え、共感が育まれるようなコミュニケーションとはどのようなものか、そのメカニズムが明らかになります。

### 顔表情と視線に基づく会話者間の共感・反感推定



### 頭部運動の物理的補強表現による会話場再構成

#### MMSpaceシステム



MMSpaceシステムは、将来の遠隔会議への応用を念頭にし、複数人物の会話の状況を、あたかもその場にいるかのように再現することを目指したシステムです。最大の特徴は、人の頭の動きに合わせてスクリーンを動かす、つまり、人の頭部運動をスクリーンの物理運動として補強して提示するという新しい表現方式にあります。

